

講義科目名称： 地域しごと概論（経営マインド）

授業コード： 13208010

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期（1Q）	1・2・3・4	1	選択
担当教員			
手塚 伸			
区分	科目番号	曜日・時限	
添付ファイル			

対象学生	全学部、山梨大学生、科目等履修生（社会人・高校生等）、特別聴講生（大学コンソーシアムやまなし等）
授業の目的	山梨県には多種多様な「ものづくり企業」が展開している。その多くが、ハイテクノロジー・ハイスキル、オペティマル（「地域・市場特性に応じた」最適）テクノロジー・オペティマルスキルを強みとして、国内だけでなく海外においても存在感を発揮している。こうしたものづくり現場の経営者や支援者8名が登壇し、仕事の理念、これまでの好機・危機、未来への戦略、VUCA時代を生き抜くための考え方を語ります。経営者の皆様方の現場からの生の声や受講者への期待を通して、山梨県産業の多様さ・奥深さを理解するとともに、現実の仕事を実感することにより、今後のキャリアを構想するに当たっての基本的な知識や精神的な糧を得ることを目的とする。
学士力A	教養力
学士力A（ウエイト）	◎
学士力B	思考力
学士力B（ウエイト）	○
学士力C	実践力
学士力C（ウエイト）	○
学士力D	
学士力D（ウエイト）	
学士力E	
学士力E（ウエイト）	
学士力F	
学士力F（ウエイト）	
学士力G	
学士力G（ウエイト）	
学士力H	
学士力H（ウエイト）	
到達目標No.1	県内ものづくり企業の多様性や、市場における存在感について深く認識できる。
到達目標No.1（学士力対応）	教養力
到達目標No.2	技術や経営の基本的な要素とそれらの重要性について理解できる。
到達目標No.2（学士力対応）	教養力
到達目標No.3	企業の価値創造、経営革新における戦略のあり方を客観的に評価・判断できる。
到達目標No.3（学士力対応）	思考力
到達目標No.4	講義を通じて得た情報や知見、考え方を自らのキャリアデザインに生かすことができる。
到達目標No.4（学士力対応）	実践力
到達目標No.5	
到達目標No.5（学士力対応）	

成績評価の方法	評価の方法	割合(%)	評価の基準
	目標No.1	25%	各回のレポート（市場の多様性などの客観性）により評価する。
	目標No.2	25%	各回のレポート（企業経営などの理解度）により評価する。
	目標No.3	40%	各回のレポート（経営革新の戦略性などの思考力・表現力）により評価する。
	目標No.4	10%	最終回到科目全体に課すレポート（地域経済を鳥瞰するリサーチ力・学ぶ姿勢）に基づき評価する。
授業の方法	県内の様々な産業界を代表する講師が、経営現場の概要や将来展望を語ります。質疑の時間を多くとり、地域で活躍する企業を知ることと同時に、生の企業経営に対する理解を深めていく。		
受講に際して・学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨を拠点に、国内外で事業展開を進める経営者などが講師として登壇します。講義をきっかけに、山梨県企業の多様性と優れた産業構造を理解するとともに、自身も何らかの行動を興せることを期待します。 ・質疑応答のみならず、授業外学修として担当教員・ゲスト講師との対話を歓迎します。 		
教科書	テキスト	適宜プリントなどを配布します。	
	参考書	講義時に適宜紹介します。	
授業計画の概要	1		
	タイトル	(4/18金) 特任教授 手塚伸	
	授業内容	日本のものづくりの現場を歩き経営者と意見交換を重ねる過程で、多くの方が「仕事」と「稼ぎ」を明確に使い分けていると感じた。経済社会の変化に伴い境目が曖昧となりましたが、再び仕事の意義が問い直される時代となった。山梨の多彩な経営者の仕事ぶりを鳥瞰していく。	
	事前学習	やまなし産業支援機構のホームページを見ておく http://www.yiso.or.jp/	
	事後学習		
	2		
	タイトル	(4/25金) 勝沼醸造株式会社 有賀雄二 代表取締役社長	
	授業内容	「価値ってというのは、いわゆる人の心を打つ度合いのことを指しているわけですから、価格と価値とは別物ですよ。 (中略) だってコスト競争じゃ負けてしまうと思いますよ。 (中略) これからはコスト競争ではなく価値競争にシフトする必要があるということを彼が教えてくれたわけです。 (有賀雄二社長)」 (長沢伸也編「地場ものづくりブランドの感性マーケティング」) から) 山梨のワイン産業を通じた「しごと」の姿を深く学修します。	
	事前学習	勝沼醸造株式会社のHPを見ておく https://www.katsunuma-winery.com/	
	事後学習		
	3		
	タイトル	(5/2金) 山陽精工株式会社 白川太 代表取締役社長	
	授業内容	バブル崩壊後 (中略)、企業経営の限界に来ていました。そこで、どのような会社にしていきたいのか、当時の社員30名ほど話し合いを行い、「自分の子供たちをこの会社に入りたいと思うような会社にしていきたい」というスローガンが決まり、これが弊社の経営理念になったのです。(同社ホームページから) 山梨の機械・電子産業を通じた「しごと」の姿を深く学修します。	
	事前学習	山陽精工株式会社のHPを見ておく https://sanyoseiko.co.jp/	
	事後学習		
	4		
	タイトル	(5/9金) 株式会社ササキ 佐々木啓二 代表取締役	
	授業内容	ハーネス製造という古くから存在する産業だが、現在はAI、IoTを中心としたデジタルイノベーションにより「あらゆるモノ、コトをつなぐ」為に必要なモノ＝ハーネスの重要性が再認識されている。半導体製造装置を中心に、航空・宇宙・防衛分野、自動車R&D分野 (レース関係)、理学機器分野を新たな事業分野として、新しいことに挑戦するという情熱をもって取り組んでいきたい。(同社ホームページから) 山梨の機械・電子産業を通じた「しごと」の姿を深く学修します。	
	事前学習	株式会社ササキのHPを見ておく https://sasaki-inc.co.jp/company/	
	事後学習		
	5		
	タイトル	(5/16金) 株式会社前田源商店 前田市郎 代表取締役	
	授業内容	私たちが今まで手掛けてきた商品のブランドの価値は、私たち自身が作ったものではない。つまりOEMクライアントのブランド価値で、これを自社の	

		価値と混同してはいけないということ。そして、私たちのブランド価値は「甲斐絹（かいき）」の伝統の中にこそある。このブランド価値をグローバル市場に問い続け、より多くの人たちの支持と共感が得られるものづくりに挑戦していきたい。（金沢のマーケティング出島二郎氏との対話から）山梨の織物産業を通した「しごと」の姿を深く学修します。
事前学習		株式会社前田源商店のHPを見ておく https://www.maedagen.co.jp/
事後学習		
6		
タイトル		(5/23金) 山梨県産業技術センター 串田賢一 主任研究員
授業内容		甲州印傳は江戸時代から続く革工芸で、山梨の代表的な伝統的工芸品産業である。鹿革に漆で文様を付け、この革で様々な製品を作っているが、原料の鹿皮はほぼ輸入に頼っている。一方、県内ではニホンジカの個体増加が様々な問題を引き起こしており、管理捕獲が進んでいる。この捕獲されたニホンジカの皮を用いて、甲州印傳にイノベーションを興せないか。これにより森から市場までを繋ぐ地域経済の好循環を創造できないか。デザイン経営を軸にした私の研究・事業化支援の一端を伝えたい。山梨の伝統的地場産業を通した「しごと」の姿を深く学修します。
事前学習		山梨県産業技術センターのHPを見ておく https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/documents/report_r01_10.pdf
事後学習		
7		
タイトル		(5/30金) 藤精機株式会社 新藤淳 代表取締役
授業内容		日本はこれまで「ものづくり立国」として成長してきました。これから仮想空間の時代が来たとしても、ハードウェアの必要が無くなることはありません。「ものづくり」の楽しさ・素晴らしさを伝承し、日本が「Made in Japan」で再興できるように「ものづくりを通して、ひとづくり、幸せな社会づくり」を実現していきたい。山梨の機械・電子産業を通した「しごと」の姿を深く学修します。
事前学習		
事後学習		藤精機株式会社のHPを見ておく http://fuji-seiki.com/jp/
8		
タイトル		(6/6金) 株式会社オキサイド 古川保典 代表取締役会長
授業内容		「人生で最大のリスクは何もリスクを冒さないことだ。人からできないと言われることに挑戦しなければ成功はない。」。スタンフォード大学でお世話になったFejer教授に起業を報告した時、贈られたこの言葉が私の胸を打った。（OXIDE 20th anniversaryから）山梨の機械・電子産業を通した「しごと」の姿を深く学修します。
事前学習		株式会社オキサイドのHPを見ておく https://www.opt-oxide.com/
事後学習		
実務経験のある教員による授業科目の概要		ものづくり現場の経営者などをゲスト講師に迎えて、仕事の理念、これまでの好機・危機、未来への戦略、VUCA時代を生き抜くための考え方などを語っていただく。
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は、16：30～18：00の時間帯に山梨県立大学飯田キャンパスで実施します。 ・経営現場の第一線で活躍される経営者等の生の声を聴くことができる講義です。必ず、各社のホームページ等を参照し、どのような考え方で、どのような事業を展開しているのか確認しておくこと。 ・また、講義の中での質問等は歓迎なので、積極的に授業に参加すること。 ・他大学の学生や社会人等とともに学ぶ「PENTAS YAMANASHI」の科目です。